

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 20 年 1 月 10 日 (2008.1.10)

【公開番号】特開 2006-260888 (P2006-260888A)
 【公開日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-038
 【出願番号】特願 2005-74972 (P2005-74972)
 【国際特許分類】

H 0 1 B 13/00 (2006.01)

B 3 2 B 9/00 (2006.01)

H 0 1 B 5/14 (2006.01)

H 0 5 K 9/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 B 13/00 5 0 3 B

B 3 2 B 9/00 A

H 0 1 B 5/14 A

H 0 5 K 9/00 V

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 11 月 15 日 (2007.11.15)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

透明支持体表面に、第 1 スズ化合物を含有する酸性水溶液を作用させた後さらに貴金属イオンを含有する水溶液を作用させることを特徴とする銀拡散転写受像材料の製造方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法で製造された銀拡散転写受像材料に、ハロゲン化銀乳剤、可溶性銀錯塩形成剤、および還元剤をアルカリ液中で作用させることを特徴とする導電性銀薄膜の形成方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法で製造された銀拡散転写受像材料上にハロゲン化銀乳剤層を塗設し、可溶性銀錯塩形成剤、および還元剤とアルカリ液中で作用させることを特徴とする導電性銀薄膜の形成方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】銀拡散転写受像材料の製造方法および導電性銀薄膜の形成方法